

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-516569(P2001-516569A)

【公表日】平成13年10月2日(2001.10.2)

【出願番号】特願2000-511779(P2000-511779)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	35/26	(2006.01)
A 61 K	39/00	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 61 K	35/26	
A 61 K	39/00	D
A 61 K	39/00	H
A 61 K	39/395	E
A 61 K	39/395	T
A 61 P	35/00	
C 07 K	14/47	

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月13日(2005.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 免疫的に有効な量の少なくとも1種類のママグロビン抗原を含むママグロビン特異的ワクチン。

【請求項2】 前記ママグロビン抗原がキャリア細胞に負荷された請求項1記載のワクチン。

【請求項3】 更に薬剤学的に許容なアジュバントを含む請求項1記載のワクチン。

【請求項4】 ママグロビンB細胞抗原とママグロビンT_c細胞抗原との混合物を含む請求項1記載のワクチン。

【請求項5】 発現のためにママグロビンB細胞抗原及び/又はママグロビンT_c細胞抗原をコードするスクレオチド配列を有する組換えベクターを含むママグロビン特異的ワクチン。

【請求項6】 配列番号(S EQ ID NO) : 2の少なくとも6つの連続アミノ酸を含む少なくとも一つのママグロビン抗原を含み、当該ママグロビン抗原は、糖鎖形成され、配列番号(S EQ ID NO) : 2のアミノ酸20 - 93を含む天然に存在し、分泌されたママグロビンポリペプチドに対して特異的であるB細胞及び/又はT_c細胞により認識される、分離、精製されたポリペプチド。

【請求項7】 前記ママグロビン抗原が配列番号(S EQ ID NO) : 2の少なくとも12の連続するアミノ酸を含む請求項6記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 8】 前記ママグロビン抗原が配列番号(SEQ ID NO)：2の少なくとも25の連続するアミノ酸を含む請求項7記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 9】 前記ママグロビン抗原が糖鎖形成され、配列番号(SEQ ID NO)：2のアミノ酸20-93からなる請求項8記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 10】 前記ママグロビン抗原が糖鎖形成され、配列番号(SEQ ID NO)：2からなる請求項8記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 11】 前記ママグロビン抗原が乳癌患者からのB細胞のインビトロ活性化及び増殖を誘発するママグロビンB細胞抗原である請求項6記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 12】 前記ママグロビンB細胞抗原が異種タンパク質からのTH細胞エピトープを含む請求項11記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 13】 前記ママグロビン抗原が乳癌患者からのTC細胞のインビトロ活性化及び増殖を誘発するママグロビンTC細胞抗原である請求項6記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 14】 前記ママグロビンTC細胞抗原が配列番号(SEQ ID NO)：2の8若しくは9の連続するアミノ酸を含む請求項13記載の分離、精製されたポリペプチド。

【請求項 15】 ママグロビンB細胞抗原とママグロビンTC細胞抗原とを含む請求項6記載の分離、精製されたポリペプチド。